

Vol.106 PUSH!

図書館司書が選んだ
中高生向けのおすすめ本

テーマ
短編つめあわせ



パパの電話を待ちながら

ジャンニ・ロダーリ／著
内田洋子／訳
講談社(973 ㊦㊦リ)



パパが娘に毎晩聞かせる、
とびっきりの物語

いつも体のどこかを落としてしまう、うっかり者の男の子や、ビーチパラソルで空を飛ぶおじさん。おかしいキャラクターが登場する、どこから読んでも楽しい不思議なお話が揃っています。

超短編！ 大どんでん返し

小学館文庫編集部／編
青崎有吾ほか／著 小学館 (PF ㊦㊦㊦)

「——覚えていませんか？」と家を訪ねてきた美少女。食事を作ってくれるというが、その少女にはしっぽが生えていて…(井上真偽／著「或るおとぎばなし」)

ミステリー作家 30 人が集結。予測不可能な結末が待っています。

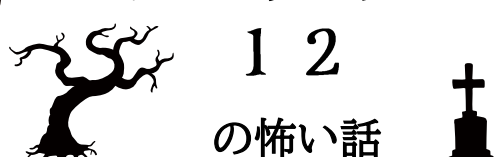
読んだらきつと、だまされる！

はじめての文学(全12巻) 文藝春秋(Y913)



浅田次郎や川上弘美など、第一線で活躍する作家の「入門作」を作家自身が選んだシリーズ。難しい漢字にはフリガナがつくなど、中高生にも読みやすい構成になっています。好きな作家はもちろん、読んだことのない作家の作品にも、この機会に挑戦してみませんか？

ほんとうにあった
1 2
の怖い話



スーザン・プライス／作
安藤紀子ほか／訳 長崎出版 (Y93 プライ)

これはほんとうの話です

トロールと共に山に消えた少女、墓の中に引きずり込まれてしまった花婿、魔王から晩餐に招待された牧師…。

奇妙な出来事に遭遇した人びとの運命は果たして——

ふくもっちゃんのつぶやき ～10分読書のススメ編～

こんにちは、ふくもっちゃんでございます。
「忙しくて本なんて読めないよ～」という人にこそおすすめしたい…それが10分読書です。
やり方は、

- ①1日合計10分 ②本に親しむ！
- ②は、読書はもちろん、友達と本の話をしたり、図書館や書店に行ってみるのもいいですね。今号で紹介している短編集も、短い時間の読書にぴったり。ぜひ手に取ってみてください。



令和3年 9月
編集発行 福島市立図書館 YA部会
TEL 024-531-6551

手紙。

小手鞠るい ほか／著
ジャイブ (PF ㊦㊦㊦)

6人の作家による「手紙」がテーマのアンソロジーです。過去の自分宛のものからラブレターまで、さまざまな手紙を通して、少年少女の想いが繊細に描かれます。手紙が好きな人もそうでない人も、ぜひ読んでみてください。読んだ後は手紙が書きたくなるかも。



願いを叶える雑貨店 たそがれどう 黄昏堂

桐谷直／著 PHP研究所(Y913 ㊦㊦㊦)

それは、幸か不幸か？

どこにあるのか、だれも知らない雑貨店・黄昏堂。自分の記憶の一部と引きかえに、願いを叶えてくれる不思議な商品が買えるという。欲しい物に貼ると自分のものになるシール、幽霊が見えるメガネ…。君なら、何を望む？